

**令和4年度 全国学力・学習状況調査結果について**

令和4年4月18日に6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の本校の調査結果の概要をお知らせいたします。(個人結果票は配付済です。)

**教科に関する調査結果 平均正答率(%)**

	国語	算数	理科
本校	67.0%	61.0%	63.0%
神奈川県	65.0%	64.0%	63.0%
全国	65.6%	63.2%	63.3%

**<全国の前答率と比較して調査結果に特徴のある問題> ●全国平均より上回っている項目 ▲全国平均より下回っている項目**

- 国語 ●「表現の効果を考える」(+21.7%)  
●「文章全体の構成や書き表し方に着目して、文や文章を整える」(+8.9%)  
●「漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く」(+11.5%)
- 算数 ▲「数と計算」(-3.8%) 「図形」(-2.3%) 「変化と関係」(-2.4%) 「データの活用」(-2%)
- 理科 ●「生命」(+5.4%)  
▲「エネルギー」(-10.1%) 「粒子」(-1.5%) 「地球」(-2.5%)

**<国語について>**

- ・知識及び技能に関する学習指導要領の内容では、どの項目も全国平均を上回る正答率だった。
- ・思考力、判断力、表現力学習指導要領の内容では、「書くこと」「読むこと」は全国平均を上回る正答率でしたが、「話すこと・聞くこと」は正答率が低かった。
- ・選択式の設問は、正答率が高い傾向にあった。

**<算数について>**

- ・「数と計算」については、 $85 \times 21$ の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ設問の正答率が低かった。
- ・「変化と関係」については、果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ設問の正答率が低かった。

**<理科について>**

- ・「生命」については、昆虫の飼育や観察に関する問題の正答率が高かった。
- ・「エネルギー」については、光の性質や反射に関する問題の正答率が低かった。
- ・選択式の設問は、正答率が高い傾向にあった。

**生活習慣・学習習慣に関する調査結果 児童質問紙による回答**

- ・スマートフォンやインターネットを長時間見ている児童の人数が多かった。
- ・PCやタブレットなど情報機器は学習の役に立つと思っている児童が多かった。
- ・「国語・算数・理科が将来役に立つ」と考えている児童が多くいた。
- ・将来の夢をもつことの大切さを感じたり、自分のよいところを認めたりしている児童の人数が多かった。

**調査結果を踏まえて**

※教科指導については、課題を明確にし、主体的に取り組めるようにしていく。個に応じた指導を充実する。また、学習したことを日常場面で生かせるように学習計画や学習課題を工夫していく。

※学習活動における情報機器の活用を充実していく。